

# 万年農業1年生 館長の自然観察日記 (51)

## 『無肥料・無農薬・自家採種・連作・草マルチ』の4年目

もう2月になりますが、改めて畠から新年明けましておめでとうございます。温暖な冬でしたが、1月後半からは風の強い寒い日が続きます。暦上は、1/5の「小寒」から気温が次第に下がり、1/20の「大寒」から冬本番を迎えることになっているのですが、「小寒」は温暖で、「大寒」でいきなり強い北風に見舞われ寒くなりました。しかし、寒いと言ったら日本海側の人に怒られそうで、大雪に見舞われた地域の人たちの苦労は並大抵のものではありません。雪があるのとないのとでは天と地の違いがあります。それにしても雨が降りません。

さて、昨年の果樹園ではイチジクの地上部が枯れてしまい、新たに苗木を買わなくてはならないかなと思っていたのですが、なんと台木が生きていて、春にならたらたくさんの枝が出て来て秋には実をつけるまでに成長してくれました。



ました。今年は、成長した枝を切り戻して、株元に藁(わら)を敷いて防寒対策をしました。ちなみに枯れたイチジクは「枡井(ますい)ドーフィン」でした。台木のイチジクは品種がわかりません。食べておいしかったので、「まあ、いいか」です。

桃も防寒しました。春になって一斉に葉が芽吹くのですが、「縮葉病(しゅくようびょう)」と言って葉が縮れる病気が多発するのです。ウイルスが原因と言われており、寒風にさらされると発病しやすいそうです。桃の木の抵抗力が問題で、前年に充分栄養を蓄えることができたかどうかが勝負です。そこでイチジクと同じように防寒しました。藁を幹に巻き付け、根元に藁を敷きました。イチジクより厳重な防寒です。藁は中が空洞になっているので保温効果が高いのです。昨年より「縮葉病」が減ることを祈っています。



「美玖里(みくり)」という栗の木で美味しい中晩生の品種です。果樹園にあるほかの3本の栗の木は枯葉を落としているのですが、この木にはたくさんの葉が着いたままで。これでは春に新芽が出るのに邪魔になるのではないかと心配し、少しずつ手作業で落としています。剪定も同時にやっています。

のですが、栗の剪定は全く初めてで、間違って大事な枝を切ると実をつけなくなります。キウイフルーツ・柿・栗・イチジク・ぶどうは、今年伸びる新梢(しんしょう)に花が咲き、実がなります。つまり今ある枝が母枝で、そこから子孫(しも)枝(新梢)が伸びて花が咲きます。

洋梨の木です。5年経ちましたが、まだ実をつけたことがありません。実は苗木の頃から上へ上へと伸ばそうと思い、枝を束ねて真っ直ぐになるように育ててきました。木が成長することを「栄養成長」と言います。木が成熟して子孫を残すと実をつけ種を宿すことを「生殖成長」と言います。その時、枝は垂直方向ではなく斜めに伸びていることが、植物ホルモン的には大事なのです。ところが、梨の木は堅く上を向いたままなので、今年は強制的に引っ張り降ろしてみました。ワイヤーで枝を曲げ、ブロックで固定している様子がわかるでしょうか。この斜め向きになった枝に果たして花が咲いて待望の実をつけてくれるか、結果は4月下旬から5月上旬に花が満開になるかどうかでわかります。また報告します。



今年は、枯れた桃の苗木のあとに「あかつき」という品種を植えたいと思います。小さな苗木が大きくなって行く木の成長は楽しいものです。

まきようクリニック

つばめ日記  
108 人参養栄湯

絵 エコピー



### ●患者さんの声●

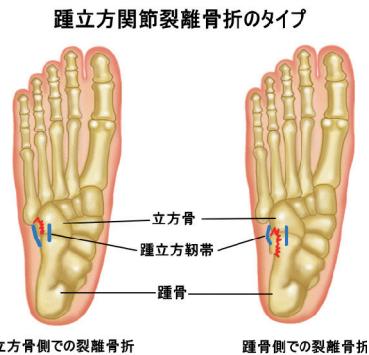
80代の女性。半年前に重い貧血のため入院し、元気になりましたが、その頃から左膝が痛くなり、最近は夜間にも痛くなるので気持ちが落ちつかず良く眠れません。他院の整形外科で痛み止めを処方してもらいましたが効果がありません。身長148cm、体重40kg、腰が曲がった小柄な方です。レントゲンでは高度な変形性膝関節症があり、膝の周りの筋肉がやせています。入院して栄養状態はだいぶ改善しましたが、筋力が衰えているのに歩きすぎて膝が痛くなってしまった。胃腸が弱く、疲れやすく、冷え性で夜間尿は2回、腹診では下腹部に力がありません。漢方医学的には「脾腎陽虚、心神不寧」と診断して、人参養栄湯を処方しました。1週間後「痛みがだいぶ良くなり、夜間痛が無くなつて、ぐっすり眠れるようになりました」とのこと。思いのほか漢方が早く効いて喜んでおられました。



## 洋先生のスポーツによる痛みセミナー 93

### 踵立方関節裂離骨折

階段で足を踏み外したり、人の足を踏んでしまったりして足の裏が内側になるように捻って受傷することがあります。踵立方靭帯に引き離される急激な外力が加わると、その牽引力により靭帯の付着部で裂離骨折を引き起こします。踵骨側が骨折する場合と立方骨側が骨折する場合があります。ほとんどがレントゲン撮影で診断をつけることができますが、他の損傷と見分けるためにCT・MRI検査をすることがあります。3~4週間のギプス固定を行うことで骨癒合が得られるため、手術を要することはほとんどありません。ギプス治療が困難な場合、足の外側にかかる荷重を減らす外側ウェッジというインソールや足底板サポーターを使って治療することもあります。



立方骨側での裂離骨折 跟骨側での裂離骨折

あなたとともに歩む道を求めて  
**TOMO-MICHI** 2026.01.01 No.223  
総合誌 定価 550円 税込

223号  
発売中!



特集 私たちの食と生活  
ひと 斎藤 恒さん 文芸 青森県立美術館 版画企画展「原子力船むつ」展示  
中国紀行 私たちは決して忘れてはならない - 日中不再戦・平和友好を求めて -

三橋 牧 院長 東儀 洋 副院長  
医療エッセイ 私の新米医師時代  
～あらゆる自律神経失调の  
症状に両手ぶらぶら体操～

\* 201~222 バックナンバーもあります! ご購入、お問い合わせは受付まで。

(\*漢方薬の効果には個人差があります。必ず漢方専門医、薬剤師に相談し、内服して下さい。)